

＜2016年度 臨床心理学講座＞

**心理職のための
「エビデンスにもとづく実践」入門
—その基礎と実際—**

原田隆之(目白大学)

**三田村仰(立命館大学)
武藤 崇(同志社大学)**

**日 時:2017年1月22日(日)10時～17時(9時半開場)
場 所:同志社大学今出川キャンパス継志館2階会議室
(<http://pscenter.doshisha.ac.jp/access/index.html>)
参加費:一般2000円, 学生1000円(定員80名;申込順)**

＜主催＞

同志社大学実証に基づく心理・社会的研究センター(WEST)
同志社大学心理学会

講師（敬称略）

1) 原田 隆之（目白大学／教授）



一橋大学大学院博士後期課程中退、カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校大学院修士課程修了。法務省法務専門官、国連 Associate Expert 等を歴任。現在、目白大学人間学部心理カウンセリング学科教授。東京大学大学院医学系研究科客員研究員。主たる研究領域は、犯罪心理学、認知行動療法とエビデンスに基づいた臨床心理学である。テーマとしては、犯罪・非行、依存症、性犯罪等に対する実証的研究を行っている。著書に『心理職のためのエビデンス・ベイスト・プラクティス入門』（金剛出版、2015）、『入門 犯罪心理学』（ちくま新書、2015）、『認知行動療法・禁煙ワークブック』（金剛出版、2014）など。訳書に『ギャンブル依存のための認知行動療法ワークブック』（金剛出版、2015）などがある。

2) 三田村 仰（立命館大学／准教授）



関西学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学、2011年に博士号（心理学；関西学院大学）取得。京都文教大学臨床心理学部講師、関西福祉科学大学講師を歴任。現在、立命館大学総合心理学部准教授。専門はアクセプタンス&コミットメント・セラピー（ACT）、応用行動分析学、アサーション・トレーニング。著書に『ACT ハンドブック——臨床行動分析によるマインドフルなアプローチ』（分担執筆、星和書店、2011年）、など。訳書に『不安障害のためのACT——実践家のための構造化マニュアル』（星和書店、2012年）。

3) 武藤 崇（同志社大学／教授）



筑波大学大学院心身障害学研究科修了（博士（心身障害学））。筑波大学心身障害学系技官・助手、立命館大学文学部准教授、米国ネバダ大学リノ校臨床心理学科客員教授（2007-2008年）を歴任。現在、同志社大学心理学部教授、および同志社大学実証に基づく心理・社会的トリートメント研究（WEST）センター長。専門は、臨床行動分析学、アクセプタンス&コミットメント・セラピー（ACT）。著書に、「ケースで学ぶ行動分析学による問題解決」（共編著・金剛出版、2015）、「ACT（アクセプタンス&コミットメント・セラピー）ハンドブック」（編著・星和書店、2011）、「行動分析学アンソロジー」（共編著・星和書店、2011）など。

プログラム

- 1) 講座1（心理職のためのエビデンス・ベイスト・プラクティスの基礎：原田隆之）：2時間（ご講演1.5時間＋質疑応答0.5時間）
- 2) 休憩：1時間
- 3) 講座2（第3世代の行動療法のエビデンス：三田村仰）：1.5時間
- 4) 講座3（エビデンス・ベイスト・プラクティスの例：武藤崇）：1.5時間
- 5) 総合討論（原田隆之、三田村仰、武藤崇）：1時間

お申し込み方法

参加のお申込の締切は1月15日（日）までとさせていただきます（会場には定員設定がございますので、早めのお申し込みをお勧めいたします）。また、申込方法は、メールでの受付のみとさせていただきます。

その方法は、以下の通りとなります。

宛先：rc-west@mail.doshisha.ac.jp

件名：【EBP】参加申込み

本文：(1)お名前、(2)ふりがな、(3)ご所属と職名（あるいは学年）、(4)受付確認メールの送信先、(5)領収書発行請求の有無